

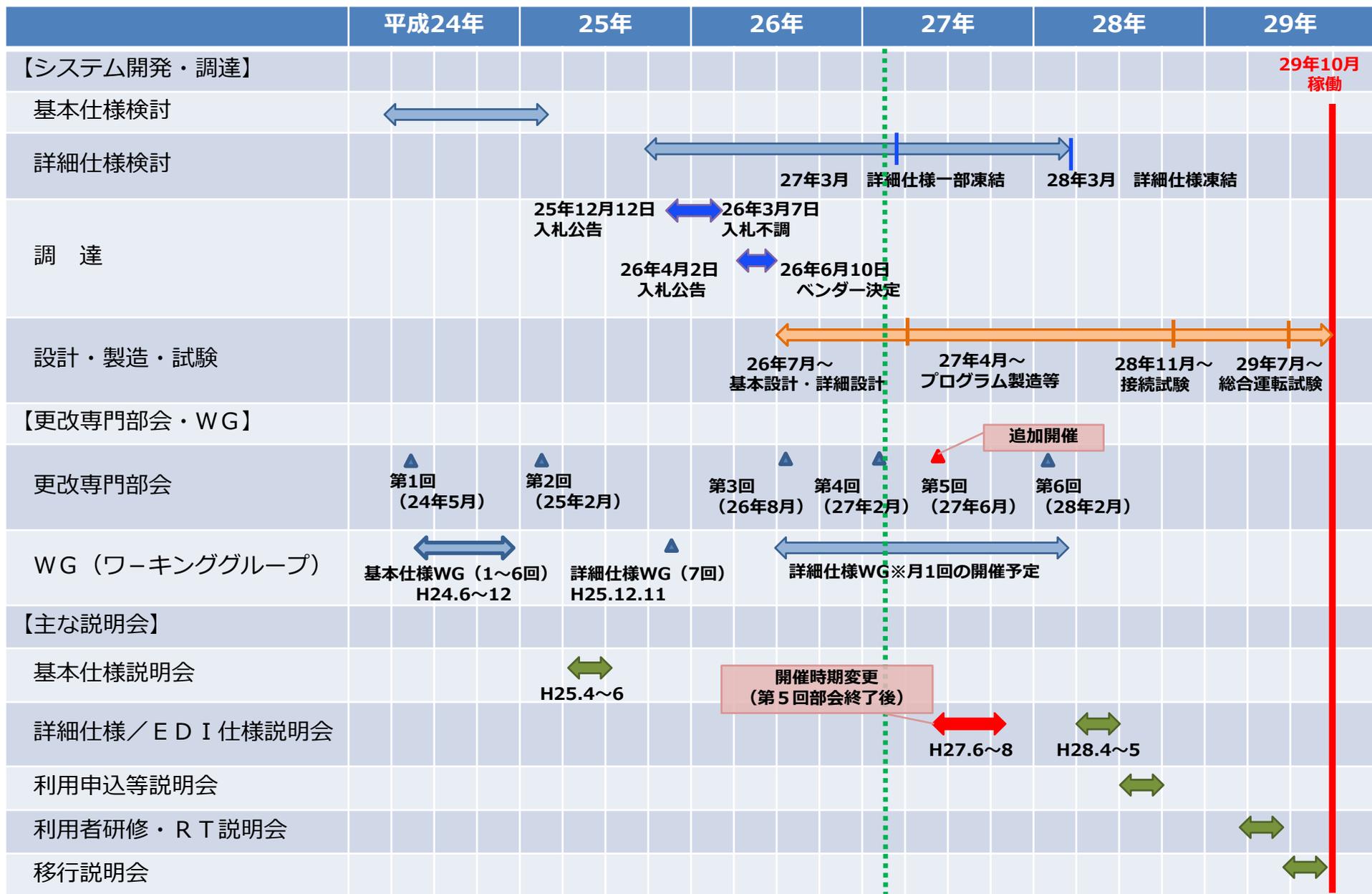
## Ⅱ 今後の予定（スケジュール）について

平成27年2月3日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



# 1. 第6次NACCS更改に向けた全体スケジュール



## 2. 詳細仕様の確定プロセスについて

H26.8.1 : 第3回更改専門部会 (詳細仕様検討項目の確定 等)

### H26.8~H28.1 : 輸出入通関/物流等WG

E D I 仕様の検討

業務詳細フローの検討

個別業務詳細仕様の検討

個別検討グループ (サブワーキング) における検討

1. SIR/IVA等荷主業務と後続業務の連携 : 航空・海上
2. 損害保険業務 : 航空・海上
3. ACL (SeaWaybill、決済機能) : 海上
4. CY搬出入・危険物明細書 : 海上
5. 入出港業務 : 海上
6. 出港前報告業務 : 海上
7. 港湾統計 : 海上

H27.2.3 : 第4回更改専門部会 (中間報告書を作成)

H27.3.6 : 第7回情報処理運営協議会 (中間報告書の諮問)

中間報告の対象外となった項目についてH27.5までに検討を実施

H27.6.4 (予定) : 第5回更改専門部会 (追加の詳細仕様の確認)

H27.6~8 : 第5回更改専門部会までに取り纏めたEDI仕様/詳細仕様の全国説明会の開催

制度改正関係等追加検討項目についてH28.1までに検討を実施

H28.2 予定 : 第6回更改専門部会 (最終仕様書を作成)

H28.3 予定 : 第8回情報処理運営協議会 (最終仕様書の諮問)

H28.4~5 : 最終確定版EDI仕様/詳細仕様の全国説明会の開催

### 3. 今後の検討案件一覧（1）

【第3回更改専門部会で決定された詳細仕様検討項目のうち第14回WG以降で提案する案件】

項番	区分	検討項目	検討概要	備考	WG提示
1	共通	汎用的な添付業務の仕組みの提供 [Ⅲ-6]	汎用的な添付ファイル登録業務機能により、全ての業務にファイルを添付することを可能とする。		第16回
2	通関	IS・ISW通関におけるAEO対応機能の新設	IS（蔵入承認申請）・ISW（蔵出輸入申告）においても特例輸入申告が可能となるようにする。また、制度面についても関係行政機関に確認する。		第14回
3	通関	税関関係業務の見直し [Ⅳ-5-5（2）]	減免税制度適用輸出入申告における残数量等管理業務等の追加を検討する。		第14回
4	通関	機用品蔵入承認申請（CTA/CTC）業務の海上システムへの拡大 [Ⅳ-6-13]	船舶で輸入される機用品についても、システムで機用品蔵入承認申請を可能とする。		第14回
5	通関	輸出入申告項目の見直し [Ⅳ-6-2]	輸出入申告における入出力項目等の見直しを行う。	第11回WGにおいて1回目の提案を実施しており、今後、追加提案を予定	第15回
6	Air貨物	BILL情報の配信機能の実装及びBILL請求先欄の追加	・NACCS利用者間であれば「搬出確認登録（一般）（OUT）」業務の際、BILL情報欄の追加を検討する。 ・輸入申告事項登録等に請求先利用者の入力欄の追加を検討する。		第15回
7	Air貨物	ULD単位での貨物管理 [Ⅳ-5-1（5）]	航空輸入貨物について、ULD単位で貨物管理が行える仕組みを検討する。		第14回
8	Air貨物	RVA業務等の見直し [Ⅳ-6-12]	現行システムでは、航空輸出業務において「航空会社向貨物引渡し登録（航空会社単位）（RVA/RVA01）」業務による貨物の引き渡しが実施できるのは共同保税蔵置場である。次期システムでは、共同保税蔵置場以外においても、「航空会社向貨物引渡し登録（航空会社単位）（RVA/RVA01）」業務による貨物の引き渡しの実施を可能とする。		第14回
9	Air貨物	HDE業務の複数件一括処理機能の追加	「混載仕立終了情報登録（HDE）」業務の複数件一括処理機能を追加する。		第14回
10	Sea貨物	危険物明細書のシステム化 [Ⅳ-5-1(6)]	現在、紙により処理が行われている「危険物明細書」について、システム化を検討する。		第15回

### 3. 今後の検討案件一覧（2）

項番	区分	検討項目	検討概要	備考	WG提示
11	Sea貨物	RSS01業務におけるエラー通知または訂正機能の追加	・「輸入コンテナ引取予定情報通知業務（ID通知）（RSS01）」業務において、通知先間違いの場合、エラーの通知または訂正機能を追加する。		第14回
12	Sea貨物	出港前報告制度関連	・出港前報告制度に係る業務の見直しを検討する。 ・プログラム変更要望（15件）について対応を検討する。	出港前サブワーキングにおいて検討	第16回
13	Sea貨物	海上仮陸揚貨物に係る処理の見直し [IV-6-9]	「積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）」業務における次船卸港の追加について、登録可能なタイミングを見直す。また、「積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）（CMF03）」業務を廃止し、「積荷目録情報登録（MFR）」業務により次船卸港の追加の登録を可能とする。	出港前サブワーキングにおいて検討	第16回
14	Sea貨物	空コンテナの仮陸揚対応 [IV-6-9]	現状、空コンテナの仮陸揚届をシステムで提出することができないため、次期システムで空コンテナの仮陸揚届をシステムで提出できるように見直しを行う。 また、併せて、仮陸揚げされた空コンテナの船積や他港への運送も可能となるように見直しを行う。 システムにより登録された仮陸揚空コンテナについて、既存の管理資料に件数等が計上されるように、既存管理資料の見直しを行う。	出港前サブワーキングにおいて検討	第16回
15	Sea貨物	Collins機能の継承	コンテナ物流情報サービス（Collins）機能のNACCSへの取り込みについて検討する。		未定

### 3. 今後の検討案件一覧（3）

#### 【追加検討項目】

項番	区分	検討項目	検討概要	備考	WG提示
1	共通	更改時におけるデータ移行の検討	第6次NACCS稼働に必要な現行NACCS保有するデータの移行について検討する。		未定
2	共通	バックアップセンター切替方法の詳細検討	ネットワークベンダー確定後、具体的な切替方法の検討を実施する。	第12回WGにおいて概要は提案済み。ネットワークベンダー確定を待って、詳細を提案。	未定
3	共通	中年度更改について	平成33年10月に予定しているハードウェア更新（中年度更改）時における留意事項等について検討する。		未定
4	共通	メンテナンスによるシステム停止	第6次NACCSにおけるメンテナンス時のシステム停止について検討する。		未定
5	共通	EDI仕様（案）	第6次NACCSのEDI仕様（案）について検討する。		未定
6	共通	デジタル証明書の運用の簡素化	デジタル証明書のインストール方法の簡素化、有効期間管理の見直し等を検討する。		未定
7	共通	マイナンバー（法人番号）に係る対応	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）」および関連法に基づく「マイナンバー（法人番号）」のNACCSにおける対応を検討する。		未定
8	Sea 共通	SIR/IVA等入力項目の見直し	SIR/IVA業務との情報連携強化を目的として、入力項目の精査を行い、必要な見直しを実施する。	SIR/IVAサブワーキングにおける継続検討案件	第15回
9	通関	申告官署の自由化対応	通関業者の営業区域に係る制限の見直し等への対応を検討する。		未定
10	貨物	関連省庁の手続状況の照会	貨物情報照会（ICG）業務等において、動物検疫・植物防疫関連業務及び食品検疫業務の業務履歴の参照を可能とする等の見直しを実施する。		第14回
11	Sea 貨物	船腹予約業務のシステム化	ブッキング情報登録の先行業務として、荷主等による船腹予約業務のシステム化を検討する。	CYサブワーキング等における提案を踏まえ検討	第16回

### 3. 今後の検討案件一覧（4）

【プログラム変更要望に基づく追加検討項目：航空／海上共通】

項番	区分	検討項目	変更要望概要	WG 提示
1	通関	輸出申告事項登録における大額、少額種別の入力簡素化	輸出申告事項登録画面を展開する際、大額、少額種別を選択するにもかかわらず、展開画面上にも「大額、少額識別」の入力するのは不要かと思われるので、当該欄の入力を省略できるようにしてほしい。	第15回
2	通関	輸入申告事項登録の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>担保の適用日は、申告予定日としてほしい。</li> <li>輸入申告事項登録（IDA）業務の包括保険登録番号は適用日に関わらず、入力できるようにしてほしい。</li> </ul>	第14回
3	通関	担保照会（IAS）業務の改善	1回1回送信するのではなく、ICG業務と同様に繰り返しによる照会ができるようにしてほしい。	第15回
4	通関	為替レート照会（IER）業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>IER業務について、ICGやIID業務のように繰り返し入力を可能にほしい。</li> <li>一度に複数の通貨について照会できるようにしてほしい。または換算レート表示画面から別の通貨の照会を可能にほしい。</li> </ul>	第15回
5	通関	口座使用明細書の出力内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインリアルタイム口座を使用した修正申告の場合にも、通常の輸入申告の場合と同様に、記事欄の内容を管理資料情報（CBF7620口座使用明細データ（営業所別実績））の「AWB番号／社内整理番号」欄に出力してほしい。</li> <li>海上システムの管理資料（口座使用明細データ）には、社内整理番号が出力されるが、航空システムにおいては「AWB番号」欄と「社内整理番号」欄が一緒の項目になっているため、AWB番号が出力されると、社内整理番号が出力されない仕様のため、項目を分けて両方出力してほしい。</li> </ul>	第14回
6	通関	リアルタイム口座振替完了通知書の改善	<p>IDA等で荷主の依頼により入力している記事（荷主）欄の内容をリアルタイム口座振替完了通知書に出力してほしい。</p> <p>（理由）今後専用口座が廃止されれば銀行の領収証書が無くなるため荷主から記事欄の活用が求められる可能性がある。実際に荷主から記事（荷主）欄をリアルタイム口座振替完了通知に反映させてほしいとの要望もある。記事（荷主）欄に荷主指定の任意の番号等を入力することにより書類の整理、保管、通帳とのつき合わせに活用可能となる。</p>	第14回
7	通関	別送品申告（UEC）業務における2重出力情報コードの追加	別送品申告（UEC）業務の出力情報コード「AAE2KD0」、「AAE3KD0」、許可書「AAE2FK0」については、自社システム宛2重許可出力コードが設定されていないため、2重出力用出力情報コードを追加してほしい。	第15回
8	通関	輸出申告（少額）におけるHS品目コードの入力	少額の場合は品名が必須入力となっている。品名の入力方法として現行のインボイス品名の手入力の他HSコード9桁を入力することでタリフの品名を自動払い出し（大額申告と同様）されるようにしていただきたい。	第15回
9	通関	輸入許可データ配信先の見直し	輸入申告事項登録（IDA）にて項番13：輸入者コード、項番24：輸入取引者コードが両方入力されている場合、輸入者、輸入取引者双方に許可データが流れるような仕様にしていただきたい。	第15回

### 3. 今後の検討案件一覧（5）

項番	区分	検討項目	変更要望概要	WG 提示
10	通関	搬入時申告時におけるエラー通知の改善（パッケージソフト）	搬入時申告を行い搬入時にエラーとなった場合、エラーがあったことが一目で分かるようにしていただきたい（パッケージソフトのポップアップ機能の追加）。	第15回
11	通関	輸出自動車情報登録（MOA）業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MOA業務に抹消上の整理番号・車体番号を入力する際、以前のNACCSと同様に、入力した順番で登録できるようにしてほしい。</li> <li>・EDA業務と同様、6日間保存できるようにしてほしい。</li> <li>・MOA業務後の処理結果電文を印刷しても、輸出自動車情報登録番号は出力されない。また、現状MOTAS番号が電文を印刷したペーパーに印字されないため、複数のMOA業務申請時にMOTAS番号を探すのに手間が掛っており、業務に支障が生じている。探すのに手間が掛っているMOTAS番号を入力しなければできないIMO業務での照会では、そもそも解決できない。MOA業務後の処理結果電文を印刷する際にMOA番号を出力するようにするか、MOA業務後に登録通知情報を出力するよう、要望する。</li> </ul>	第15回
12	貨物	見本持出許可申請（MMA/MHA）業務の改善	持出先欄を日本語表記可能としてほしい。	第14回

#### 【プログラム変更要望に基づく追加検討項目：航空】

項番	区分	検討項目	変更要望概要	WG 提示
1	Air 貨物	保留コードの統一化	搬入保留を選択する場合「P」を入力するが、貨物が搬入キャンセルになった場合には、一括処理搬入対象外のコードとして「X」がある。一方、EXM搬出確認登録にてLDR発行の保留を行う場合はコード「P」ではなく「X」を入力するために、BIL業務においても間違えて「X」を入力する時があることから、搬入保留とLDRの発行保留のコードを合わせてほしい。	第14回
2	Air 貨物	HAWB情報登録（HCH）業務の入力件数の拡大	一度で入力できる件数を最低でも20件に増やしてほしい。	第14回

### 3. 今後の検討案件一覧（6）

#### 【プログラム変更要望に基づく追加検討項目：海上】

項番	区分	検討項目	変更要望概要	WG提示
1	Sea 共通	I C G業務の改善	I C G業務は、現行は概要情報（S M R）がデフォルトになっているが、全体情報（T T L）の利用が殆どであるため、全体情報（T T L）をデフォルトになるよう変更してほしい。	第14回
2	Sea 通関	輸入申告事項登録における入港日のブランク化	入港日が必須項目となっているが、航空システムで可能となっているように、ブランクにて申告できるようにしてほしい。	第15回
3	Sea 貨物	保税管理資料に影響ある業務の搬出入日チェック	「G01 輸入貨物搬出入データ」及び「G02 輸出貨物搬出入データ」の「搬入日」及び「搬出日」の入力業務において、データ入力日以外の「過去日」又は「未来日」を入力した場合にワーニングを出力してほしい。	第15回
4	Sea 貨物	保税台帳の収集条件の見直し	コンテナ検査を行った場合、管理資料（保税台帳）に輸入許可日が反映していないことから当該事項も反映してほしい。	第15回
5	Sea 貨物	搬出入日の未来日チェック	B O C業務の搬出入日について、未来日が入力された場合、ワーニングメッセージが表示されるようにしてほしい。	第15回
6	Sea 貨物	C C L業務の入力可能者の見直し等	「船積確認登録（C C L）」業務を実施する本船に係る輸出申告において、要船積確認の旨登録されているデータが存在する場合は、船会社又は船舶代理店以外がC C L業務を登録できないようにしてほしい。（他の業種で行われると、多数の申告者に船積確認通知情報の出力不可の影響が生じる。）	第15回
7	Sea 貨物	コンテナ番号のチェック機能の改善	V A N ・ V A E業務において誤って12桁を入力した場合、チェックがされない仕様のため、桁数誤りでもチェックがされるようにしてほしい。また、V A H業務でもコンテナ番号チェック機能を付けてほしい。	第15回
8	Sea 貨物	保税運送申告一覧データのC Yへの配信	管理資料情報「G03」保税運送申告一覧データは出力先にC Yが含まれていない。「G03」保税運送申告一覧データをC Yでも受信／使用できるようにしてほしい。	第15回
9	共通	帳票出力日時出力について	E C R業務で取得した情報を何度か訂正する場合、プリントアウトに出力順を示す情報がないため、最新情報が不明になることから、プリントアウトの際、出力日時を出力してほしい。	第15回
10	Sea 貨物	保税運送（市内運送）における価格入力	「仮陸揚貨物の保税運送（市内運送）の場合、価格の入力が必須項目になっているため、一般の保税運送（市内運送）と同様に、価格の入力を任意項目にしてほしい。	第14回
11	Sea 貨物	在来船におけるB I A業務の改善	在来船のマニフェスト登録について、1 B / Lの貨物を陸揚げ後、直接複数の保税倉庫に搬入する場合、マニフェストの分割が出来ない為、倉庫側でB I Aが出来ない。システム外搬入を行おうとしても上流にデータが有り、エラーとなるため折角登録したマニフェストデータの削除を求められる。又、マニフェストデータが有る状態で別の貨物番号でシステム外搬入を行った場合、登録したマニフェストデータが宙に浮いてしまうため、結局削除を求められる。このようなケースであってもB I Aが行える仕組みを考えて頂きたい。	第16回